

本渡東小学校、有明小学校の

建設が始まる

平成30年4月開校

—完成予想図—



有明小学校

【有明小学校の概要】

天草市有明支所の東側に新たに敷地を造成し、小学校の校舎・体育館・プール・グラウンドのほか必要な施設を整備する計画です。

校舎は、鉄筋コンクリート3階建てで、内装はできる限り木材を使用することにしています。

平成30年4月の児童数は、181人となる見込みです。

学校規模適正化(学校統廃合)推進計画では、複式学級の解消を最優先課題として、各小学校が6学級以上となるように統廃合することで適正化を図ることにしており、平成30年度までの計画として進めています。このほかには、牛深地域の深海小学校と久玉小学校を統合して、平成29年4月に現在の久玉小学校を利用した“牛深東小学校”の開校に向けて進めているところです。

計画終了後には、市内の小・中学校数は小学校17校、中学校13校になる予定です。

【問い合わせ先】本庁・教育総務課（五和農業情報センター内）☎329001



平成22年1月に策定した「学校規模適正化(学校統廃合)推進計画」に基づき、平成30年4月に本渡地域の志柿小学校、本渡東小学校、瀬戸小学校が統合し、新たに“本渡東小学校”が開校、有明地域の大楠小学校、浦和小学校、島子小学校が統合し、新たに“有明小学校”が開校します。これに向けて、市では新たに校舎や体育館などの建設を進めています。

今号では、その概要についてお知らせします。

【本渡東小学校の概要】

本渡東中学校の敷地内に隣接して小学校の校舎・体育館のほか必要な施設を整備する計画です。プールは中学校のプールに低学年用の小プールを増設して、小中学校で共用する計画です。グラウンドは本渡東運動広場となっていた部分を中学校のグラウンドとし、新校舎前部分を小学校のグラウンドとして利用する計画です。

校舎は、1階を鉄筋コンクリート、2階を天草産木材を利用した木造とし、内装もできる限り木材を使用することにしています。

平成30年4月の児童数は、260人となる見込みです。



本渡東小学校



—完成予想図—